



特集 気軽に始める図書館システム

図書館システムをテーマにするにあたり

会誌編集部

病図協の研修会で、図書館システムをテーマとして開催した会がありました。

病院図書館は、小規模図書館がほとんどだと思います。物理的広さだけでなく予算規模も。そういった状況で、市販の図書館システムを導入できているところは多くはありません。もちろん市販の図書館システムを導入できているところもありますが、高額なものを導入できているところは少ないでしょう。下部に病図協の統計結果から、利用中の図書館システム一覧を掲載しました。利用数が多いもののうち4機関の会員からお話を聞くことができました。また、図書館システムとどのようにつきあっていくのかの講義を奈良大学の磯野氏にお願いしました。

当日の内容は实际的で、多くの会員の方にも知ってもらえると役に立つと思ひ、同じテーマで当日の講師の皆さまに原稿の執筆を依頼しました。皆さま、こころよく引き受けてくださりありがとうございました。

今回の特集が会員の皆さまの一助となることを願います。

図書館システム導入の有無（機関数）

市販システム	独自開発システム	なし
35	23	34



市販システムの内訳

商品名	導入機関数
司書アシスト	21
情報館	4
高度情報システム「BLABO」	1
ELISE	1
iLiswing V.3	1
富士通 Intrasearch	1
校倉	1
お気軽図書館 6	1
図書メイト	1
CARIN	1
Lib Max	1
トーハン探検隊	1

独自開発システムの内訳

ソフト名	使用機関数
FileMaker Pro	10
Access	8
Excel	2
桐	2
不明	1

※平成 28 年度統計調査結果より引用（有効回答数 92、会員機関数 112）

（文責：井上智奈美/三菱京都病院）